

プロとしての介護業務について——その4

仕事にやりがいを持つために、より良い介護の向上のために

今月から平成から令和に変わりました。新しい令和でも相変わらず、**良い介護を目指しましょう。**

まず、日頃から頑張っておさっている結果で施設運営も順調です。その感謝を形にしたいと思っておりましたが理事長の許可を得ましたのでまず5月からの95%以上の「稼働率手当」を2か月遅れになりますが出せることになりました。もう一つ「強化型手当」も出したいと思っておりますがこれは実績を見てからになります。

私達はより良い介護を目指すプロですからこれで良いという終点はありません。今回も引き続いて仕事への心構えについてお話させていただきます。当一羊館での仕事への心構えは当館の理念と行動指針を守れば必要にして十分と思っておりますが、実際に具現化するの結構難しいということで、色々な切り口から同じと思われるようなお話をしております。

今回は、「仕事へのやりがい」という切り口からお話致します。

「仕事にやりがいを持つために」、或いは「仕事が惰性に流れない為に」、或いは「仕事へのモチベーションが維持されるために」、が仕事への意欲には必要ですが、その為に「どんな小さなものでも良いので目標を決めて、その視点から自分の仕事を見つめ直す」ことは、「より良い介護の向上のため」にも大変良いことです。「前向きに生きましょう」とか「リサーチマインドを持ちましょう」、とも言えます。

「なぜ？、どうして？、もっと良い方法があるかもしれない？」という疑問を持ってみる、いうことでもあります。前向きに生きるためのコツが、そのリサーチマインドです。

そして、「教えることが最良の学ぶ方法」ですので、勉強の最良の近道は「ヒトに教える」ということです。当館は発表の場が少なくとも4つあります。**全老健、県老健、一羊会研究発表会、事例検討会、**です。

新年度に入りましたので、1年間をかけて来年まとめる位のつもりで、**何かテーマを決めましょう。**2～3年かけるつもりでも良いでしょうし、結果的に発表しなくてもかまいません。強制ではありませんが何でもよいので**テーマを決めるという姿勢自体が大事なのです。**

各職場毎に全職員が、「**どんな小さなことでも、どんなつまらないと思うことでも、結構ですのでヒトに発表するつもりで一つテーマを決めて、**実践してみよう。

これから2か月位を目途に、各自が決めて下さい。取りまとめは各職場長です。そして**各職場長がそのテーマを取りまとめて持っておいて下さい。**そして、必要があれば互いに助言し合って、進捗状態をお互いに確認し合ひましょう。

老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに**尊厳・安心・満足**を！

一羊館の行動指針

私たちは、**保健・医療・福祉の架け橋のプロ**に徹します。

私たちは、**利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立**を目指します。

私たちは、**質向上のために日々の小さな工夫**を忘れません。

